道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

写真：単車倶楽部

8月発売の単車倶楽部10月号の表紙になったこの写真、我が四賀地区の水田で撮りました。なんと三好礼子特集！

三好礼子
エッセイスト・元国際ラリースト
～ http://www.fairytale.jp/ ～

容赦ない陽射しが降り注ぐ7月半ば、ヤマハセロー250のエンジンをかけ、私は待ち合わせ場所に向かって走り出しました。忙しくてなかなかバイクに乗れず、久々のミニツーリングだったからでしょうか、スタートして1分後もたたないうちにそれはやってきました。「うわ～っ！なんて気持ちいいんダァ～！」。熱風が空冷となり、空の蒼さが目に飛び込んできます。身体の全ての器官が一瞬にしてスイッチオン。1キロも行かないうちに目の前に「FREE」という文字がバーンと浮かびました。そして初めてバイクに跨った時の興奮やツーリングでみた光景の感動が次々と走馬灯のように現れては消えていきます。BGMは、大好きなロードレーサー小沼賀代子さん（1980年代に日本で最初の女性国際A級ライダーとなった伝説のライダー）が歌った「フリーウェイ」。～時計を忘れ　気ままな世界へ　流れるままに走り続けて　遠ざかる人や町並み　Free Way 私は風になる～♪なんと5キロほど先にある信号に行くまでに、50年間の醍醐味を全て再生（リ・ライド？）してしまうという稀有な体験をしてしまいました。バイクってスゴイ！道って楽しい！動くってなんて素晴らしいの！と改めて感動しつつ、国道158号線にある松本市新村の岩崎神社へ。

ここで待ち合わせたのは、ラジオパーソナリティーやシンガーソングライターでもある「神社ソムリエ・神社巡拝家」の佐々木優太さん。今回は彼が連載している月刊オートバイ誌の「神社ソムリエの開運ツーリング（秋掲載予定）」のゲストだったのですが、東京から自走のハーレーで颯爽と現れた佐々木さん、カッコいい～♪ 20代から参拝した神社は一万五千以上、4千五百もの御朱印を拝受したそうですが、どの神社の話になっても即座に詳しく答えてくれるまさにソムリエ。そんな彼に今の私の悩み（家も仕事もやりたいことがありすぎて時間が足りない！）を伝えたところ、勧めてくれたのがご近所の岩崎神社だったのです。なんとそこは1年前、ジョギング通いで何度も横を通った神社でした。ぐるっと囲った生垣も低く、風と光が自由に遊んでいるような明るくて気持ちのいい場所。開けっぴろげな本堂も素敵でしたが、敷地を歩いて回ったら、いかに綺麗にしていらっしゃるかが分かりました。毎日でも来てみたい。その日はとても評判がよいという禰宜さんはいらっしゃらなかったのですが、手作りのゴム印で描かれた様々な御朱印の可愛いこと。お祭りにはビクで捕った川魚を奉納するそうで、そのビクも置かれており興味津々。

そしてここは、ライダーたちが御朱印を集めて回る「御刻印」参加の神社でした。長野県には5ヶ所、全国で百ほどある神社仏閣には、それぞれオリジナルの刻印が押せるスタンプ台があり、革製のお守りに自分で打って集めるという噂の「御刻印ラリー」。ここ3年ほどでハンドル周りや腕につけている人がいたので知っていましたが、やってみるとこれは楽しくてハマりそう。道の駅から始まって、バイク雑誌・行政・SSTRや絶景系のツーリンググラリーなどが全国に広がっていますが、確かに1ヶ所押すと、また次へと行きたくなります。

神社をもっと巡って欲しい思いからこの御刻印をプランニングしたのは、実は今日案内してくれた佐々木さん。「どうして思いついたのか」を聞きたいなと思っていたら、最後にその答えとも思える時間がやってきました。走りの撮影シーンが終わった途端に降り出した雨はどんどん強まり、お昼を食べた知り合いのお蕎麦屋さん（「道の駅風穴の里」向かいにあるレイコ御用達の「みどの」）で、急所雨宿り。そこで思いがけず佐々木さんの人生や神社の話を聞けることとなったのですが、それがもう一冊の本を読むように面白くて、内心「雨よ、もっと降れ～」と思ったほど。神社ソムリエは伊達ではなく、神社に活かされ神社に選ばれたような人生故の「御刻印」だったのですね。そして予定より4時間以上も店じまいを伸ばしてくれた店主のお陰で、雨上がりに拝めたでっかい二重の虹は、人生で幾度も見られないほど見事なものでした。

風と光の遊ぶ神社の心地よさ。いつまでも走りを見守ってくれたでっかい虹。「深呼吸をいっぱいしてね」と言われたような気がして、帰路はすっかりFREEを満喫した私がいました。佐々木さん、楽しい時間をありがとう♪

案内役の神社ソムリエ佐々木さんと岩崎神社。参道を走らせて駐車なので、拝殿とのツーショットも撮れてしまう！例大祭の流鏑馬見てみたいな～

「まずは水に浸し、乾かぬうちに刻印機でプレス」とやり方を伝授してもらいました。その神社の神様が宿った革製のお守りに自ら刻印していく「御刻印」。

ビクと魚、ムカデが描かれている可愛い御朱印と。御刻印の革には９カ所ほど押せるので、テーマを決めて回ると楽しそう。まさに「日本の文化、歴史、再発見の旅」。

手打ちそば「みどの」さんで和気藹々の雨宿り。佐々木さんの後ろはマネージャーの四條さん。左は編集者の齋藤さん。私の後ろが店主の坪田さん。右はカメラマンの井上さん。

Wレインボーの主虹の内側にレアな過剰虹がクッキリでて、みんなで大騒ぎ！　私の好きな松本市道波田225号線にて。

佐々木さんの愛車は、ハーレーダビッドソンのXL1200NS（スポーツスターアイアン）。もくもく入道雲を見ながらツーリング、楽しかったなあ。

九州の散歩道

亜熱帯植物に囲まれた「青島神社」

フリージャーナリスト　湯浅玲子

宮崎市の中心地からも近く、気軽に遊びに行ける観光スポットとして人気の青島地区。青島は周囲1・5キロほどの小さな島ですが、島全体がパワースポットと言われていて、ビロウジュなどの亜熱帯植物に囲まれています。

天然記念物に指定された南国の雰囲気漂う島の中央にあるのが青島神社。島にかかる弥生橋を徒歩で渡って参拝します。神社の朱塗りの門や神殿を亜熱帯植物が取り囲む何とも不思議なコントラスト。歴史も古く、弥生時代から祭祀が行われていたとされます。

宮崎には神話が残る場所があちこちにありますが、青島もそのひとつです。有名な「海幸彦・山幸彦」の舞台とされ、山幸彦と豊玉姫が結ばれた地であることから、縁結びにご利益があるとされています。境内には恋愛成就を願うハート型の絵馬や恋みくじがあふれています。

青島へ渡る際には、自然の力が創り出した「鬼の洗濯板」にも注目してください。青島を取り囲むように広がる奇石群で、遠くから見ると巨大な洗濯板のように見えることからこの名がつきました。青島を含む約8キロの海岸線に続いていて、潮が引くと磯遊びも楽しめます。

私が幼少の頃、よく遊びに行ったのが青島地区にある遊園地「こどものくに」です。青い海と空、楽しい遊具、ラクダに乗って砂浜を散策できる「夢の国」でした。けれども時代とともに来園者は減少し、大型遊具は老朽化で撤去されていきました。

今ここでは再生事業「こどものくにビルドアッププロジェクト」が進んでいます。大人も楽しめる場所にするべく、キャンプなどができるアウトドア施設や国内最大級のスポーツ用品店が誕生しました。目の前に国内有数のサーフスポットがあり、地元の産品を販売するマルシェや飲食店、さらにコワーキングスペースもオープンして、さまざまな人が集まる場所へと変貌しています。

また、日本の海水浴場百選に選ばれた青島海水浴場は、数年前から年間を通じて利用できるようになりました。パラソルやベンチが設置されたビーチで、海を感じながら自由に過ごすことができます。

青島地区から日南市にかけて沿岸道路一帯の開発に貢献したのは、宮崎交通の創業者で「宮崎観光の父」と称される岩切章太郎氏です。その精神を受け継ぎながら、青島地区は新しい時代の観光スポットに生まれ変わろうとしています。

（写真提供：宮崎県観光協会）

亜熱帯植物に囲まれた青島神社

青島の周囲に広がる「鬼の洗濯板」

道路交通情報

◇道路緊急ダイヤル　#9910
◇NEXCO東日本　http://www.e-nexco.co.jp/
◇NEXCO中日本　http://www.c-nexco.co.jp/
◇NEXCO西日本　http://www.w-nexco.co.jp/
◇首都高速　http://www.shutoko.jp/
◇阪神高速　http://www.hanshin-exp.co.jp/
◇本四高速　http://www.jb-honshi.co.jp/
◇日本道路交通情報センター　http://www.jartic.or.jp/

道路ニュースの宛名変更・発送停止について

○**宛名変更**：《「No.0000」または「U-00000」に記載されている番号》、《変更後の住所》、《「社名」または「氏名」》、《宛名変更》を記載し、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。
○**発送停止**：《「No.0000」または「U-00000」に記載されている番号》、《「社名」または「氏名」》、《発送停止》を記載し、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。

【宛名記載例】
〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-3-1　尚友会館6F
全国道路利用者会議　様
No.0000　または　**U-00000**　1部

FAX　03-3501-5612
E-mail　the_road_news@road-jhuc.jp